

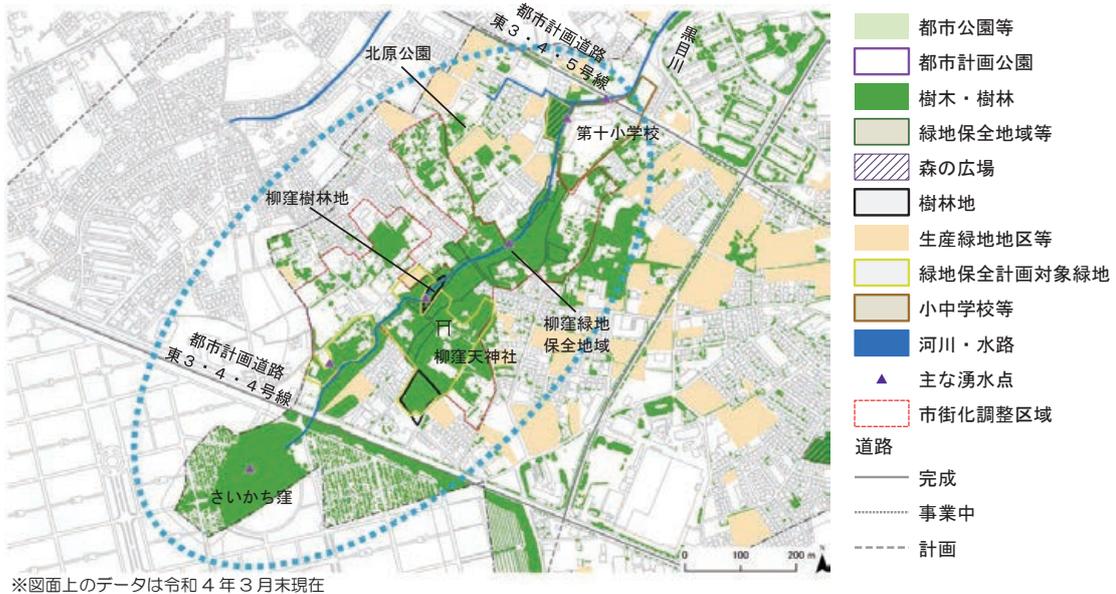


6 水と緑と生きものの18の拠点と保全のための取り組み

① 柳窪

都立小平霊園(さいかち窪)から柳窪緑地保全地域にかけて雑木林や農地が多く残る地域です。屋敷林が、かつての武蔵野の面影を色濃く残し、市の指定する保存樹木や樹林も数多くあります。柳窪天神社前には東京の名湧水57選に指定された湧水地もあり、黒目川の上流部の水源地として重要な地域です。さいかち窪では数年に一度現れる湧水とともにドジョウが見られることもあります。

良好な緑地環境を保全し、市街化調整区域などの開発コントロールにより屋敷林等の開発を抑制します。黒目川親水化事業として環境整備を行ったこの地域を広く市民に伝えていくとともに、黒目川沿いの湧水の保全に努めます。



② 下里

黒目川に沿った、市民の憩いの場として川に下りられるように整備した「しんやま親水広場」と、その下流の「しんみやまえ親水こみち」がある地域です。川面には市内特有のミクリやナガエミクリの群落も見られます。新所沢街道を境に下流側は、武蔵野の農村風景が残る下里氷川神社や農地を生かした景観を保全し、武蔵野の農村風景の復活を目指し、上流側は、市民が親しめる環境との調和を図った環境を保全していきます。



③ 柳泉園組合

清瀬市、東久留米市、西東京市のごみの中間処理施設である柳泉園組合の敷地(9.5ha)とその周辺も緑に覆われ、出水川が横切り、市民が集う水と緑と生きものの拠点といえます。

武蔵野の残存種が生息・生育している施設の自然環境を将来にわたり保全するとともに、指定緊急避難場所としての役割もあるため、生きものの保全とも合わせて、施設管理者に対して協力を求めています。加えて、出水川の水質については今後も注視していきます。



※図面上のデータは令和4年3月末現在

④ 野火止用水(下里)

かつて下流地域への生活用水として開削され、その後の「清流復活事業」により甦った「野火止用水」に沿って野火止用水歴史環境保全地域(下里地区)の雑木林があります。雑木林では、樹木の更新などにより新たな植生が生まれつつあります。この場所に限らず市内の水場は、カワセミのえさばととなっています。

用水沿いの自治体と連携した清流の保全と、周辺環境との調和のため、高木・老木化した樹木などの適正な管理を行っていきます。



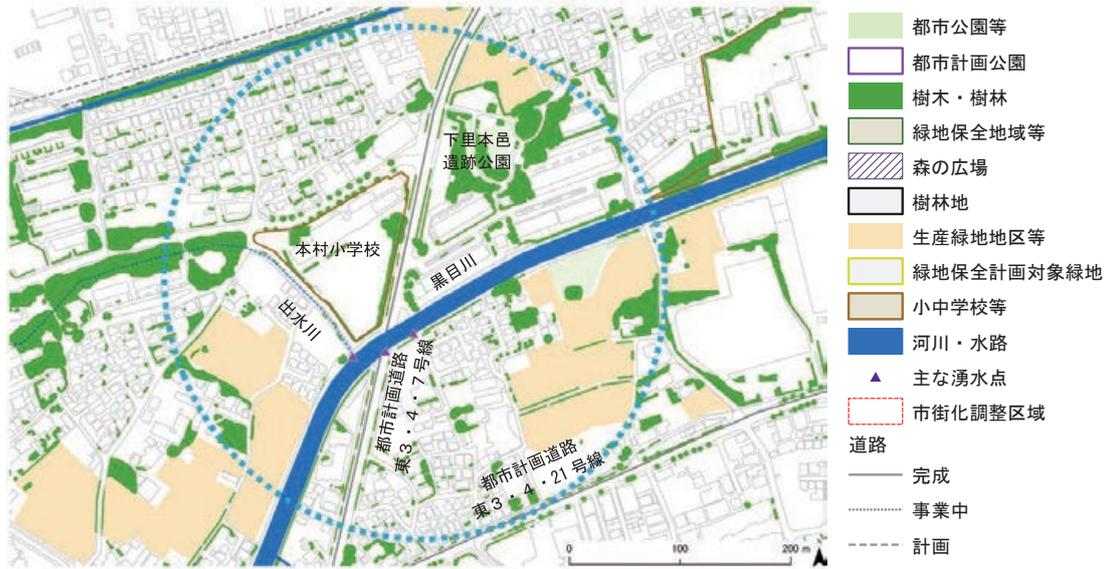
※図面上のデータは令和4年3月末現在



⑤ 本村

黒目川と出水川が合流する付近には湧水もあり、周囲の果樹園などとともに、水と緑と生きものの拠点
を形成しています。

湧水に集う縄文から平安時代までの人々の生活の跡が残っている下里本邑遺跡公園があり、指定緊急避
難場所としての機能整備と併せて、老朽化した施設の適切な維持管理を行っていきます。出水川の水質に
ついては今後も注視していきます。



※図面上のデータは令和4年3月末現在

⑥ 野火止用水(野火止・小山)・黒目川崖線

野火止用水歴史環境保全地域と、緑の豊かな公立学校が多くある地域です。野火止用水は人工の水路で
すが、これまでにアブラハヤやオイカワなどの小魚が確認されています。

周辺の畑や、野火止用水・黒目川と一体となって、規模の大きな水と緑と生きものの景観を形成してい
ます。施設の管理者に緑の保全を呼び掛けるとともに、緑の適正な管理を行っていきます。



※図面上のデータは令和4年3月末現在

⑦ 小山・氷川台

小山・氷川台地区の緑地保全地域を中心に、小山台遺跡公園、大圓寺、子ノ神社があり、東京学芸大学附属特別支援学校にもまとまった雑木林があります。駅周辺の市街地にも近く、黒目川崖線の斜面にあるため、景観的にも重要な地域です。

緑地保全地域の適正な管理を行うとともに、周辺の民有雑木林や農地の保全を所有者に対して呼び掛け、東京学芸大学附属特別支援学校の雑木林は、学校や市民との協働で、その有効な活用を進めていきます。また、都市計画道路東3・4・21号線の整備にあたっては、周辺の自然環境に配慮した整備のあり方について検討します。



※図面上のデータは令和4年3月末現在

⑧ 金山・大門

黒目川を挟んで、北側には金山緑地保全地域、南側には浄牧院があります。金山緑地保全地域は、黒目川に削られた崖線と、その北側の平坦な台地からなり、クヌギやコナラ、イヌシデなどが生育しています。また、南側の厳島神社の社寺林や農地、屋敷林も貴重な緑です。

保全地域の適正な管理を行い、黒目川を中心とした一体の緑地の保全を推進します。



※図面上のデータは令和4年3月末現在